

# CELLISSIMO

## 「第4回1000人のチェロ・コンサート」直前スペシャル

「第4回1000人のチェロ・コンサート」をひかえて

開催まであと二カ月ほどとなりました「第4回1000人のチェロ・コンサート」。今までの3回と違って、初めて神戸を離れ広島で開催します。



2月28日(日)、神戸市立若宮小学校(神戸・須磨区)3階にある体育館(アリーナ)で開催された神戸公式練習。一般参加の子どもたち8名も参加し、田久保裕一先生の指導で、緻密な練習が行なわれました

元々1998年11月の「第1回1000人のチェロ・コンサート」は国際平和を訴え、阪神大震災復興支援という、二つの目的で開催したものでした。

以後は、「北海道有珠山復興支援コンサート」、「新潟中越地震復興支援コンサート」と被災地復興支援が前面に出過ぎました。そんな中で後者のコンサート参加者で新潟在住のチェリス

ト、角谷輝彦さんから「震災復興支援コンサートもありがたく大切ですが、現下の世界各地での紛争を目の当たりにして、もう一つの目的の【国際平和】を謳った1000人のチェロを広島で開催しては」との意見をいただきました(3ページに全文掲載)。

私たちのNPOはその個人のご意見を大切に、2年間検討し、広島での「1000人のチェロ・コンサート」の開催を決めました。

戦後の混乱期を経て1980年代からの高度成長でアジアの国としては唯一の先進国入りを果たし、G7にも最初から重要国の一員として入るほどの経済大国となった日本。

欧米に旅立つ日本人ツアー客が訪問地で相次ぎ「スリ・盗難」の被害に遭ったりするのは「安全・安心」を空気のようにはかき捨てていない私たちの生活態度と意識から必然的に標的にされて起るものです。100年に一度の経済危機と言われながら、百貨店衰退論が叫ばれながら、街行く人々はお洒落に着飾り、物が溢れています。

私たちはこの日本の繁栄を素直に喜んで感謝しなければなりません。それらの豊かさの享受を、安全保障の問題云々に結びつけたりすることは私たちの団体では議論しません。少なくとも平和がその根源であるこ

とを認識し感謝し、世界が恒久平和に向かうことを切望します。

今月初めに、オバマ米国会衆国大統領と鳩山内閣総理大臣に正式なルートで「第4回1000人のチェロ・コンサート」への招聘状をお届けしています。ご臨席いただけるかどうかは時の政治・経済情勢に左右されますので、わかりません。

どちらになっても、私たちは世界10カ国・日本全国から手弁当で参集して下さる1000人規模のチェリストで、広島から高らかに世界に向けて平和への感謝と継続を祈念し、演奏します。どうか、この高邁な目的に賛同下さるチェリストを一人でも多く一緒に演奏しようではありませんか。

最後に現在の参加者状況をお伝えします。(2月28日現在)  
日本人の参加申込み者数は730名、海外からの申込み者数は約50名、合計780名です。

あと200名あまりで1000名を超える申込者数となります。どうか今一度あなたのまわりのチェリストの方々に「第4回1000人のチェロ・コンサート」参加へのお誘いをお願いいたします。

2010年3月1日

NPO国際チェロアンサンブル協会

事務局長 松本巧



from

指揮 田久保裕一氏



このたび、広島における「第4回 1000人のチェロ・コンサート」で、指揮をさせていただくことになりました田久保です。

皆様方とは高門宮様追悼公演、中越地震復興支援コンサート以来、三度ご一緒させていただくこととなります。チェロ出身の私としまして、1000チェロの活動には以前からご協力させていただきましたが、今回は原爆根絶と平和を祈念してのコンサートになるもので、大変大きな意義を感じ、また同時に大役を仰せつかった重責をひしひしと感じております。

すでに各地で公式練習が始まっていますが、全国の皆様とお会いできるのを心待ちにしております。公式練習では、できるだけわかりやすく、楽しく、また厳しく音楽を追及してまいりたいと思います。何か質問がありましたら気軽にお声をかけてください。

私のブログにも1000チェロの項目を設けました。ぜひ検索してご覧ください。

5月の本番ではゲリンガスさんや皆さんとともに、世界に平和の祈りを発信してまいりましょう。

田久保裕一先生のブログに「1000人のチェロ・コンサート」の各地での練習の様子が克明に記されています。ぜひご覧ください。

<http://blogs.yahoo.co.jp/takubocchii>

from

独奏・指揮 D・ゲリンガス氏



# マエストロ からエールが 届きました

Meine lieben Cellofreunde!

Wir starten im Mai 2010 in Hiroshima das IV 1000 Celli Konzert!

Beim letzten Mall in Kobe 2005 habe ich selbst mitgespielt unter der Leitung meines geliebten Lehrers, unseres unvergessenen Maestro Mstislav Rostropovich.

Diesmal darf ich an seiner Stelle dirigieren. Das ist ueberwältigend!

Für mich ist es eine grosse Ehre und eine riesige Freude, mit so vielen Cellisten aus verschiedenen Ländern zu musizieren!

Soll Hiroshima mit unserer Musik weiterhin fuer alle Menschen dieser Erde zum Zeichen des Friedens, des gegenseitigen Respektes, der Güte, Hoffnung und Liebe sein!!

Herzlichst,

Ihr

David Geringas

親愛なるチェロ仲間の皆様！

私たちは、2010年5月、広島にて「第4回 1000人のチェロ・コンサート」を開催いたします！

前回、2005年に行なわれた神戸のコンサートでは、私の愛する師であり、私たちの忘れえぬマエストロ、ムスティスラフ・ロストロポヴィチ指揮のもと、私自身とともに演奏いたしました。

そして今回、私は師のポストを受け継ぎ、指揮棒を握ることを許されました。なんと光栄なことでしょう！

さまざまな国から集まった多くのチェリストたちと音を奏でることは、私にとって何にも代えがたい栄誉であり、大きな喜びです！

広島が私たちの音楽によって、この世のすべての人々のための平和と敬愛と慈しみと愛のシンボルであり続けられますように！

ダヴィード・ゲリンガス



2月11日(木・祝)に広島市の「安芸府中生涯学習センターくすのきプラザ 大アリーナ」で行なわれた広島公式練習。本番指揮者の田久保裕一先生の指導で、熱気があふれていました

「第4回 1000人の  
チェロ・コンサート」演奏曲目

オープニング

1. 鳥の歌 ゲリingas氏のソロ

田久保裕一氏 指揮

2. スズキ・メソード チェロ指導曲集より  
(フランス民謡、むすんでひらいて、かすみか雲か)  
3. セレナーデ/ラッヒナー作曲  
4. 「原爆」/古屋さおり作曲  
5. 1000人のCelloの為のREQUIEM II  
(HIROSHIMAの為に)/三枝成彰作曲  
6. チェロのためのレクイエム/三枝成彰作曲  
7. ヒムヌス(讃歌)/クレンゲル作曲  
8. パッサカリア/ヘンデル作曲  
9. グラナダ/ララ作曲

D. ゲリingas氏 指揮

10. フラトレス/ペルト作曲  
11. カンタータ「モスクワ」よりアリオソ/  
チャイコフスキー作曲  
12. レリジョーゾ/ゴルターマン作曲  
13. ブラジル風パッサカリアより「モディーナ」/  
ヴィラ＝ロボス作曲  
14. メドレー「広島から世界へ」/  
各国代表曲のメドレー  
以上、合計約74分間

① チケットの種類

S席(指定席)前売り5,000円、当日5,500円  
A席(指定席)前売り4,000円、当日4,500円  
B席(指定席)前売り3,000円、当日3,500円  
C席(自由席)前売り2,000円、当日2,500円

② 販売開始

2009年12月21日(月)より

③ 購入方法

(1) インターネット

NPO国際チェロアンサンブル協会HPから  
e+(イープラス)サイトにログインして直接ログ  
インもできます。http://eplus.jp/sys/main.jsp

(2) Faxで事務局に

申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、  
事務局にFaxで申し込みができます。

※電話での受け付けは行なっていません。

④ 会員特典

NPO国際チェロアンサンブル協会の会員の方  
はFaxで直接事務局に申し込んでいただけます  
とA.B.C席に限り40%の割引で購入できます。

⑤ 出演者特典

「第4回1000人のチェロ・コンサート」参加  
者(出演者)の方は、チケットを定価の20%引  
きで購入できます。

【お願い】

この会報を読まれた方にはどうか周りのチェ  
リストの方々へのお誘いを紙面をお借りして  
お願い申し上げます。

そして、2010年5月16日(日)14時から  
の「第4回1000人のチェロ・コンサート」には  
ぜひ、ご家族やご友人をお誘い合わせの上、  
ご来場ください。

開催日:2010年5月16日(日)14:00開演

開催地:広島グリーンアリーナ

目的:~広島から世界平和の願いを込めて~

詳細:http://1000cello.vc/

参加費: NPO会員8,000円 非会員10,000円(学生以下半額)

募集締切: 2010年4月15日まで延長しました!

練習日程: 本誌5ページに掲載。最新情報は、HPをご覧ください。

提唱者、角谷さんの思い

本誌第8号(2006年12月発行)に  
寄せられた「提言」より再録

『世界平和とチェロアンサンブル』角谷輝彦(新潟)

阪神大震災の復興支援が契機となって1998年、神  
戸で国内外から1013人のチェリストが集まり大人数  
によるアンサンブルが行なわれた。以来、1000人チェ  
ロと呼ばれている。

この1000人チェロが震災から2年になろうとして  
いる新潟県中越地震の被災者を励まそうと、「中越地震  
チャリティコンサート」が企画され、鹿児島から北海  
道まで、チェリスト93人が長岡に集まった。それぞれ休  
暇をやり繰りし、大きな楽器を携え、交通費はもちろ  
ん自前である。にわかには信じがたいようなことであるが、  
音楽への熱い思いは参加者全員に共通していた。

公演は、被害の大きかった山古志、小千谷、川口の三方  
所で、地元からも温かい歓迎を受け、チェロだけの優  
しく迫力のある響きは、復興に励む人々から多くの共感を  
いただいた。それは演奏者にとってもこの上ない充実感  
となった。また大分と岡山からの参加者は、街頭コンサ  
ートで集めた震災支援金を携えて被災地に直接手渡すこ  
ともできた。

21世紀に入っても紛争やテロ、戦争、20世紀に繰り返  
された戦争悲劇の教訓が何一つ生かされていない現実  
に驚くと同時に慙愧の念に堪えない。その上、独裁国家の  
核実験など、世界平和は、むしろ後退している観がある。  
かつて、カザルスがケネディ大統領に「今こそ平和が  
大切」と訴えたホワイトハウスコンサート(1961年)は、  
ちょうどアメリカとソ連(ロシア)の緊張が高まり

一触即発の「キューバ危機」にさしかかる時であった。  
それから10年後、国連平和賞受賞(1971.10.24)でも『鳥  
の歌』を演奏した。「私の故郷カタルニアでは、鳥た  
ちがピース、ピースと空を飛んでいます」というスピ  
ーチとともに大きな感動を呼び、歴史的な演奏となった。  
その後、この『鳥の歌』は、バルセロナオリンピック  
でも用いられ、今や平和の讃歌といった位置づけにな  
たと考える。

また、カザルスはシュバイツァーとともに核実験に反  
対、一貫した平和活動の精神は受け継ぎたいものである。  
音楽の瞬間はやはり平和そのものである。平和とは努力  
なくして獲得できないものである。音楽は、それを可能  
にする。

人間が造り上げた物で最悪なものが大量破壊兵器とい  
われる原子爆弾である。そして、その対極にある最善の  
ものは楽器、中でもチェロであると考ええる。

チェロは、音域も広く独特の楽器でアンサンブルが可  
能な上、存在感があり視覚的でもある。

カザルスの平和活動の遺志を継いで被爆の地、広島か  
ら平和のメッセージを世界に向けて発信することに大い  
なる意義を感じる。

世界中のチェリストに参加を呼びかけて1000人と  
は言わず、大規模に爆心地の平和記念公園で「世界平和  
チェロアンサンブル」として平和をアピールする。その  
規模を全世界にテレビ中継すれば、そこに込められたも  
のは必ず伝えられると確信する。

参加者の思い



笠岡から参加の佐藤京平君  
僕がチェロを始めたのは、  
2年ほど前です。ピアノのほ  
かにも楽器をやりたいくて、何  
がいいかなと思っていたとき  
に、「これも百科」でチェロ  
のページにきづけになりました。初めて弾いたとき、  
とても低い音で、音色が美しく、「いつか、とても大  
きな演奏会でチェロを演奏したいな」という夢を持ちま  
した。僕のチェロの先生、中村康乃理先生は、とても分  
かりやすく教えてくれて、僕のチェロの腕も、ぐんぐん  
上がってきました。

「1000人のチェロ」の案内がきたときは、夢をか  
なえる時が来たと思いました。楽譜が届いたときは僕は、  
最後の「広島から世界へ」という曲のポジションチェン  
ジがたたくさんあって難しそうだなと思いました。C  
Dを聴いてみると、とてもいい曲だったので、完ぺきに  
弾けるように練習しようと思いました。最初の分奏に参  
加すると、CDで聴いたよりも、音がとてもきれいでし  
た。1000人で弾くと、とても美しい音楽になると思  
いました。家では、CDに合わせて楽譜を見つめなが  
ら練習しています。僕が好きなのは、「広島から世界へ」  
です。いろいろな曲が一つにまとまっていて、とてもい  
いなあと感じました。

今年も、広島で演奏される1000人のチェロ演奏会  
僕は、原爆資料館へ行ったことがありませんが、本や  
マンガ、おばあちゃんの話などで、戦争は、ひどいこ  
どだと思っています。その気持ちを、この平和を願う曲と  
ともに世界の人々に届けたいです。

# 「第4回1000人のチエロ・コンサート」各地での練習の様子をお知らせします。

## 大分分奏練習レポート

2009年12月12日(土)～13日(日)

湯布院フローラハウス

分奏リーダー・白沢史字

指導・白沢史字

いつもの分奏では、なかなか時間が足りなくて、全部の曲を細部まで練習することができないのですが、今回は何と云っても2日間、時間がたっぷりありました。

実は、私は2日目からの参加だったのですが、前日がどれだけ有意義な練習だったかというのは、今回が初の1000チエロ参加のみなさんが、すっかり曲を自分のものにしていただくことができます。

先輩面をしていた私も、うかうかしてられない！と発破をかけられた格好になつてしまいました。

2日目は、コヤ(漢字がわかりませんがすみません)先生も指導してください、

曲のイメージや気をつけるところなどを丁寧に教えてくださいました。



湯布院だし、忘年会だよー、なあんでいう甘い考えが吹っ飛ばすほどの、熱い、厳しい練習でしたが、しっかりとアンサンブルの楽

しさも体験した合宿でした。

追伸…とはいつつ、宿泊組はコヤ先生を囲んでの宴会もみっちり楽しんだ、とのこと。さすが、大分軍団。

(馬場 良子・記)

## 広島公式練習レポート

2月11日(木・祝) 13時～17時

安芸府生涯学習センター

くすのきプラザ 大アリーナ

責任者・永山恭子

指導・田久保裕一

全国に先駆けて最初の公式練習は、開催地である広島で開催されました。当日は本番での指揮者 田久保裕一先生がお越しになり、指揮・指導をしてくださりました。練習へは、広島県内はもちろん、東京・神戸・岡山・笠岡・福岡・大分からも参加があり、総勢約90名の参加となりました。

この練習には、NHKやRCCといったテレビ局や地元中国新聞社などマスコミの取材があり、夕方のテレビニュースでの放映や翌日の新聞報道もありました。今回のマスコミ報道で、地元広島の方々に「第4回1000人のチエロ・コンサート」の広島での開催を知ってもらえたのではないかと思います。

今回は、1000チエロへ、初めて参加する方が多数いたこともあり、さらに最初



今回は地元となる広島で公式練習。自然と力が入ります

の公式練習でもあったので、田久保先生は全曲を最初の曲から1曲ずつ丁寧に指導してくださりました。曲によっては不具合があるところもありましたが、それは今後の課題ということで、とにかく全部の曲を練習したことによって、ある程度のイメージが掴めたのではないかと思います。

今回の広島での公式練習は、本番近隣の5月5日(水・祝)13時30分～17時30分まで、本番会場である「広島県立総合体育館(通称広島グリーンアリーナ)」の小アリーナで開催します。最後の総仕上げになると思います。大勢の方にご参加いただき、少しでもみなさんのお手伝いができればと思っています。

(永山 恭子・記)

## 鹿児島分奏練習レポート

2月11日(木・祝)

県民交流センター

分奏リーダー・曾木新六

指導・曾木新六

鹿児島では、1000人チエロ経験者2名と初めての参加予定者5名が鹿児島市内の練習会場に集まり、休日を利用して練習しています。皆さんお仕事をお持ちで、遠い距離をお車で来られる方も多く、集まること自体大変なのですが、その熱心さは大変なもの。初回、2回目ともに予定時間をオーバーし、それでも「えっ！もうこんな時間？もう1回しましょう」というメンバ―もいるほどです。

毎回、持ちよりのランチをいただきながら(こちらに熱心になる方もいて…)楽しく和やかな雰囲気です。上京中の鹿児島メンバ―から、東京公式練習のレポートをいただき、メンバ―に配信したところ、その具体的な練習内容に「参考にして私たちも今月の練習がんばりましょうー」の声。3月の連休を利用しての練習もまた一層熱を帯びたものになりそうです。ランチへの期待もまたかなりのものになりそうです。南国らしく、明るく熱い鹿児島分奏メンバ―、5月の本番を目指してがんばっています。

(池田 昭代・記)

# 充実した練習が続いています。

## 公式練習

- 2月11日(木) 13:00～17:00 広島/安芸府中生涯学習センターくすのきプラザ大アリーナ
- 2月27日(土) 13:00～17:00 神戸/神戸市立若宮小学校
- 2月28日(日) 13:00～17:00 東京/台場小学校
- 3月14日(日) 13:00～17:00 仙台/仙台市青年文化センター
- 4月3日(土) 13:00～17:00 名古屋/豊田市崇化館交流館
- 4月4日(日) 13:00～17:00 小倉/北九州市立大手町練習場 10F大練習室
- 4月11日(日) 11:30～15:30 東京/東京学芸大学付属世田谷小学校
- 4月24日(土) 13:00～17:00 神戸/神戸市立若宮小学校
- 4月25日(日) 13:00～17:00 東京/台場小学校
- 5月5日(水) 13:00～17:00 広島/広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)小アリーナ
- 5月14日(金) 17:00～ 広島/本番会場
- 5月15日(土) 13:00～、17:00～ 広島/本番会場(2回実施)

## 分奏練習

### 広島分奏

- 1月30日(土) 13:00～17:00  
アステールプラザ中音楽室
- 3月13日(土) 13:00～17:00  
広島市安芸区民文化センター音楽室
- 4月17日(土) 13:00～17:00  
アステールプラザ中音楽室

### 山形分奏

- 2月21日(日) 16:00～19:00  
天童市市民文化会館
- 3月28日(日) 16:00～19:00  
天童市市民文化会館
- 4月18日(日) 13:30～16:30  
ノルデンハウス

### 東京分奏

- 1月31日(日) 18:00～21:00  
田園調布富士見会館
- 2月14日(日) 13:00～17:00  
吉祥女子中・高等学校
- 3月14日(日) 13:00～17:00  
吉祥女子中・高等学校
- 3月22日(月・祝) 9:00～12:00  
生涯学習センター(101)
- 3月28日(日) 9:00～12:00  
生涯学習センター(305)
- 5月5日(水・祝) 13:00～16:00  
吉祥女子中・高等学校

### 国立分奏

- 3月28日(日) 17:30～21:30  
くにたち市民芸術小ホール 音楽練習室

### 愛知分奏

- 1月9日(土) 13:00～17:00
- 1月24日(日) 13:00～17:00
- 2月6日(土) 13:00～17:00
- 2月21日(日) 13:00～17:00
- 3月6日(土) 13:00～17:00
- 3月21日(日) 13:00～17:00
- 4月25日(日) 13:00～17:00
- 5月8日(土) 13:00～17:00  
豊田市崇化館交流館



ご覧のように、各地で公式練習、分奏練習が活発に行なわれています(3月10日現在)。公式HPには、それぞれの練習場所の住所、交通手段、なごびに責任者、分奏リーダーの連絡先が記されています。よびご覧になられて、できるだけ多くのご参加くださるようお願いいたします。

### 名古屋分奏

- 2月21日(日) 13:00～17:00  
明和プラザ3F
- 3月7日(日) 18:00～21:00  
名古屋音楽プラザ
- 3月29日(月) 13:00～18:00  
ニュー王山ビル5F
- 4月18日(日) 13:00～16:00  
フタマル商店2F

### 笠岡(岡山県)分奏

- 2月13日(土) 13:00～17:00
- 2月14日(日) 13:00～17:00
- 3月13日(土) 13:00～17:00
- 3月14日(日) 13:00～17:00
- 4月10日(土) 13:00～17:00
- 4月11日(日) 13:00～17:00
- 4月17日(土) 13:00～17:00
- 4月18日(日) 13:00～17:00  
笠岡市民活動支援センター

### 福岡分奏

- 1月31日(日) 13:00～16:00
- 2月13日(土) 17:00～21:00
- 2月28日(日) 13:00～16:00
- 3月14日(日) 13:00～16:00
- 3月27日(土) 17:00～21:00
- 4月29日(木・祝) 17:00～21:00  
アクロス福岡 地下練習室1

### 小倉分奏

- 12月27日(日) 17:00～21:50
- 1月31日(日) 12:00～16:50  
北九州市大手町練習場 中練習室2

### 大分分奏

- 9月23日(土) 13:00～18:30
- 10月24日(土) 13:00～18:30
- 11月23日(祝) 13:00～18:30  
大分県立総合文化センター

### オアシス BF1 中練習室

- 12月12(土)～13日(日) 湯布院にて合宿
- 2月21日(日) 13:00～18:00
- 3月13日(土) 16:00～21:00
- 3月21日(日) 13:00～18:00
- 4月24日(土) 16:00～21:00
- 5月8日(土) 16:00～21:00  
オアシス BF1 中練習室

### 岐阜分奏

- 3月22日(月) 13:00～17:00
- 3月27日(土) 13:00～17:00
- 4月4日(日) 13:00～17:00  
岐阜市文化センター音楽室

### 静岡分奏

- 3月6日(土) 17:30～21:00  
三島市民文化会館第2練習室
- 4月11日(日) 13:00～16:30  
三島市民文化会館第1練習室

### 綾部(京都府)分奏

- 3月6日(土) 13:00～17:00
- 3月27日(土) 13:00～17:00
- 4月3日(日) 13:00～17:00
- 4月17日(土) 13:00～17:00  
綾部市三方町上寺38番地  
西村允文様宅

### 大阪分奏

- 3月7日(日) 13:00～17:00
- 3月21日(日) 13:00～17:00
- 4月3日(土) 13:00～17:00
- 4月17日(土) 13:00～17:00  
大阪市立中央青年センターB棟音楽室

### 神戸分奏

- 2月21日(日) 13:30～17:30
- 3月21日(日) 13:30～17:30
- 4月11日(日) 13:30～17:30  
フェリシモエスバスホール

### 龍野(兵庫県)分奏

- 3月22日(月) 13:30～16:30
- 4月3日(土) 13:30～16:30
- 4月18日(日) 13:30～16:30
- 5月2日(日) 13:30～16:30  
たつの市青少年館2F第3会議室

### 佐賀分奏

- 4月18日(日) 18:00～21:00  
佐賀市文化会館練習室1

### 米子(鳥取県)分奏

- 3月14日(日) 13:00～17:00
- 4月18日(日) 13:00～17:00  
米子市住吉公民館

### 鹿児島分奏

- 2月11日(木) 10:00～13:00
- 3月22日(月) 10:00～13:00
- 4月29日(木) 10:00～13:00  
県民交流センター

### 佐野(栃木県)分奏

- 3月7日(日) 13:00～17:00
- 4月10日(土) 18:30～21:30
- 4月15日(木) 18:30～21:30
- 5月9日(日) 13:00～17:00  
界地区公民館第一会議室



## 笠岡 分奏練習レポート

2月13日(土) 13時30分〜17時30分  
2月14日(日) 13時30分〜17時30分

笠岡市民活動支援センター

分奏リーダー・中村幸太郎

指導・中村康乃理

笠岡での地方分奏は、前回の「第3回1000人のチェロ・コンサート」の時に引き続き2回目です。場所は、前回同様「笠岡市民活動支援センター」1階「この指とまれ」です。分奏の対象地区は、岡山県全域と広島県西部地域を考へていますが、先生との繋がりで広島から参加された方や、以前から交流があった関係で姫路から参加された方もいて、それぞれ12〜13名の参加でした。

演奏の指導は、前回同様、息子の康乃理が行なっています。2月11日の広島での第1回公式練習に親子で参加し、勉強してきました。

指導者としての康乃理の感想です。

「広島では、今回初めての曲もあるのですが、いろいろと勉強になりました。ただ、曲の



笠岡(岡山県)の分奏練習。いい響きになってきました

不具合があった曲もあり、もう少し様子をみていきたい。分奏では、12パートに分かれる曲の演奏の時、全パートが揃わないので、参加者にとって分かりづらい点か気の毒でした。6パート以上の人がもう少し参加してほしいですね。今回初めて参加した人もいるので、2月は初練習ということもあり、今回演奏するすべての曲のイメージをつかむことを目的に全曲弾いてみましたが、次回からはもう少し掘り下げて練習していきます」

今回初めて参加する人が多く、さらに前回からパートを上げた人もいて、皆さん悪戦苦闘していました。そういう方々のためにも、さらに途中からでも練習に参加していただけるように、今後は、3月は13日(土)と14日(日)、4月は10日(土)と11日(日)、17日(土)と18日(日)の計6回の練習を計画しています。

なお4月からは、「笠岡市民活動支援センター」が笠岡市六番町2-1-5に移転します。ここは、岡山県備前中県民局の敷地内の旧保健所跡の建物です。笠岡警察署の南、笠岡市民会館の東側の位置になります。

なるべく大勢の方々に参加していただき、5月の広島の本番では皆さんが楽しんで弾けるように、少しでもお手伝いできればいいなと思っています。

(中村幸太郎・記)

## 山形 分奏練習レポート

2月21日(日) 16時〜19時

天童市市民文化会館

分奏リーダー・増川誠

指導・増川大輔

「遙か広島へ 思いをこめて」

春は名のみに残雪はまだ深い天童に、山形県内各地から8名のチェリストが参集し



増川大輔さんの描いた山形分奏ハウス

ました。6年前の「1000人のチェロ・コンサート天童公演(高田宮殿下追悼)」や、「第3回1000人のチェロ・コンサート(神戸)」に参加した方が6名、初参加者が2名の内容。職業も年齢も多彩で、校長退職者、高校教師、ピアニスト(2)、会社員主婦(2)、それにプロチェリストの面々。第2、3、6、8、パートがいなかったため、12パートに分かれる曲は、合奏になりませんでした。第1パートは2名でした。

旋律が明瞭で、経験した曲については力いっぱい演奏できました。新曲についてはみんなであれこれ意見や感想・イメージを述べ合い、曲をまとめていきました。いずれも、少人数とは思えないほど重厚な響きだったことをお知らせします。

山形から見ると本州南部の「広島」は、さすがに遠いです。しかし、それぞれの心にある平和への希求、チェロを愛するスピリットが一体となり、合奏に反映したように感じました。

最後に締めくくりのリクエストで、再び三枝氏の旧曲「チェロの為のレクイエム」を心を込めて演奏し、盛り上がった温かい心のまま会場を後にしたのです。

3月14日、仙台の公式練習で、升田俊樹先生のご指導が楽しみです。

(増川誠・記)

## 神戸 公式練習レポート

2月27日(土) 13時〜17時

神戸市立若宮小学校

責任者・松本巧、山本康雄

指導・田久保裕一

昨日からの激しい雨も明け方には上がり、穏やかな早春の土曜日になった2月27日。須磨浦公園東端の水族園と国道2号線を挟まれた、神戸市立若宮小学校の講堂兼体育館で行なわれました。

指揮者の田久保先生の指導で、午後1時から5時まで、120余名の参加者が、広島への練習を行ないました。参加者には、第2パートを担当する小学2年生がおり、初見の曲を弾いていたのには驚きました。

第3回までは、ポートアイランドの港島小学校を使用して、公式練習をしていましたが、今回は、地域の行事が計画されており、使用することができなかった。

公式練習をする場所は、100名以上でチェロを弾き、交通の便が悪くないところ、使用料が安いところ、などの条件で、探していくと、結局は小学校の体育館にたどり着きます。地域への学校開放が行なわれており、だんだんとチェロの練習などに使用



楽譜の記載の違いなどをチェックしながら、「ピアノやフォルテの落差をプロの演奏家以上につけましょう」など、演奏上のアドバイスがいくつもあった神戸公式練習

# みんな、がんばっています。

することが困難になっています。

今回の若宮小学校は、JRの駅から、歩ける距離であり、近くに駐車場もあって公式練習に適当と思われる。市の中心部から離れています。他に適当な箇所も無く、使用をお願いした次第です。

神戸市の小学校は、土曜日はその地域に施設が開放されており、学校側の判断のみで使用を許可できず、土日などの使用を統率している地域の委員会との合意が必要のため、その調整も学校側で調整していただき、使用可能になりました。

(山本 康雄・記)

## 福岡分奏練習レポート

2月28日(日) 13時～16時

アクロス福岡地下練習室1

福岡分奏リーダー 上田 聖子

指導・上田 聖子

福岡では3回目になる分奏を行ないました。参加者は19名で、3番パートを除き、ほぼ全パート揃いました。

今日は全曲を通す予定で集中力を持ってがんばりましたが、「ブラジル風ハッハ」と「グラナダ」を残して、あえなくタイムアウト。全体的にダイナミクスに忠実にオーバー目に弾くこと、それにはただ書いてあるからでなく、和声の移り変わりやアウフタクトの存在などを『感じて』弾くことを確認し合いました。

休憩時間の参加者の声です。

N・Sさん(社会人、2回目参加)  
「今日の合奏で全体の曲の感じが、CDでは分からない細かい所が分かって、良かったです」

K・Yさん(初参加)

「1人での練習は苦しいけど、合奏に来ると楽しいです。」

梅野航平くん(中学生、初参加)

「すごく緊張しました」

朴基勲くん(小学生、初参加)

「福岡にはチェリストはあまりいないと思っていたけど、人が多くてびっくりしました」

匿名さん(大学生、初参加)

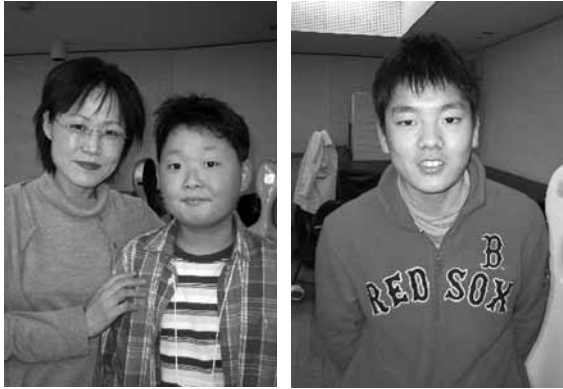
「普段は大学のオケで弾いています。こんなにチェロが集まって合奏したのは初めてで、いいなと思いました」

O・Nさん(社会人、初参加)

「練習は週1です。練習不足だなと思いました」

上妻陽子さん(社会人、2回目)

「前は12番でした。今回は5番で高音との絡みや重厚な低音の支えを感じながら弾いています。福岡ではパートが1人なんです」



韓国から参加した小学生の朴基勲くん(お母さんとのツーショットです!) 中学生で初参加の梅野航平くん

すが、広島で同じパートの方々と一緒に弾くのを楽しみにしています」

お世話をしている側からの感想は、初心者の多い11、12番あたりから、回を重ねるごとに厚みのある音が聴こえて来て「がんばってるな〜」と思いました。しかし、

がんばすぎて体を壊さないようにして欲しいです。練習には適度に休憩を挟んでくださいな。

(上田 聖子・記)

## 東京公式練習レポート

2月28日(日)

品川区立台場小学校

責任者・寺田義彦、田原光子

指導・田久保裕一

コンサートマスター・林俊昭

東京公式練習、集合時間のお昼頃は、ちょうどどしゃ降りのお天で、どうなることかと心配しましたが、雨の中を116名の皆さまが集まってくれました。

2月に小学校の体育館で練習するのは寒いかなあと、2階のオープンルームでの練習にしたのですが、ラッシュのような混雑と熱気で暑いくらいでした。

また、参加者の皆さま(岡山さん、坪井さん、中西さんをはじめ会員の皆さま)が、なんと! 集合時間の1時間も前からいらしてくださって、準備をお手伝いください、また、帰りはほとんどの参加者の皆さまが最後まで残って、片付けていただきました。本当に心強い限りです。

練習には林俊昭先生もいらっしやうって、素敵な音を聴かせていただけました。譜面の整備についてはなかなか追いつかず、

指揮の田久保先生にも皆さまにも迷惑おかけして申し訳ありません。とにかく毎日が忙しくて、とても手が回らない状態です。修正版が確定いたしましたらお出ししますので、もう少し辛抱くださいませ。

今回は116名の約7割が、初参加の方でしたが、初めて参加した方にも、楽しかったと言ってもらえて、ちょっとホッとしています。4月11日(日)も公式練習となります。次回もよろしくお願ひします。

なお、参加者募集担当理事として、最後にもう一つお願ひです。会員の皆さまに、あと一人ずつ誘っていただけたら、1000人の目標が達成します。どうか今一度、周りの方をお誘ひいただき、ご一緒に参加くださいますよう、あわせてお願ひ申しあげます。

(田原光子・記)



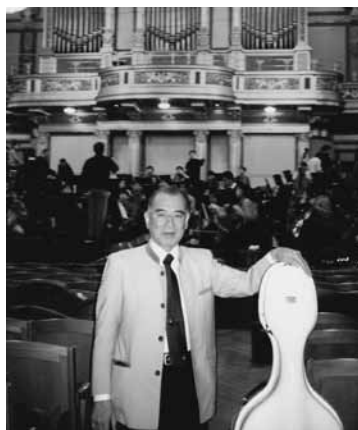
1曲ずつ丁寧に指導をされる田久保先生のおかげで、どんだん曲が見えて来た東京公式練習

まだまだ分奏練習、公式練習は続きます。詳しくは、HPをご覧ください。

## 特別寄稿 かけがえのないチェロ愛好家の皆様へ 石川嘉一(東京)

「1000人のチェロ」のスタートは、1971年に『ベルリン・フィル12人のチェリスト』が結成されて、東京では早稲田大学・大隈講堂にて披露され、その企画人R・ヴァインズハイマー氏と神戸の松本巧氏の出会いからでした。始まりは、ドイツと日本の有志が手弁当で企画・運営し、コンサートを開催・成功しました。私たちは、総裁に高岡宮殿下をお迎えすることができました。

1998年の「第1回1000人のチェロ・コンサート」は、阪神大震災の被災地の復興と平和への祈りを込めた演奏会です。もう一つは、P. カザルスの「鳥の歌」による世界平和祈願です。



私は東京にいても、このニュースを知らなかったのですが、昭和31年からの長いお付き合いとなる二人のドイツ人、オトマーさんとクリストフさんの「僕たちも参加するから、神戸で再会しないか」という手紙により知らされました。

私は、当日、家族とともにコンサートに参加することになりました。久しぶりに両家族との再会！ 本番会場に行ったら、譜面台がいっぱい並んでいて、本当に1000人が集まるのでびっくりしました。日本中からも諸外国からも大人も子どもも、まさに前代未聞のコンサートで、日本で初めて、いや世界でも初めてのチェロだけの大コンサートでした。この響きと感動は、集まった皆様の音楽に対する情熱、チェロを愛する心、私たちは身も心も引き込まれてしまいました。

スタッフの松本さん曰く、「1000人の響きは本当に素晴らしい、弦楽四重奏だと一本の糸のように響くが、この1000人のチェロの響きは、糸を寄り合わせた一本の紐のように響く。それは、各パート1000人で演奏するから癒しい力強い響きです」まさに我が国の文化的

宝の音楽集団になり、ギネスブックにも登録されました。

それから12年。何回かの演奏会には積極的に参加している喜びは大きい。ぜひ、今後も継続したい「1000人のチェロ・コンサート」です。それには、どうしたら成功するか、考えてみました。

人間は、10人集まれば10色の知恵1000人では百倍のアイデアが生まれるでしょう。この「1000人のチェロ」のために、知恵の豊かな方は知恵を出し、経済的に余裕のある方はお金を寄附し、まだ時間のある方は働いてください。ば、応援団として申し分ありません。そして、合奏の楽しさを若人に奨励すること、毎回、良き指導者を探すことにより、新しい気分になることも重要で、長続きができる源でもあります。

少し、厳しいことを書きますが、皆様の中で、もし自己満足で弾いている人がいたら、やめてください。だいたい自分も分からない人だし、そういう方の音楽が聴衆のハートに届くはずがありません。参加者全員が、本番ぎりぎりまで、音符一つでも練習してもらいたい。そうし

てこそ、チェロの響きが一人ひとりの聴衆に、感動と喜びを与えることができると思っています。

「発足から12年の時間の経過があり、残念ながら他界された仲間もいます。今回広島で、彼等は靈魂となつて、私たちと一緒に演奏している気持ち大切にしたい」

この目標を高く掲げて、アンサンブルは糸乱れず雄々しく確固たる足取りで「1000人のチェロ」が前進してこそ、心の浄化ができ、目標の「世界の平和」につながります。私は、皆様との間の絆を信じています。また、皆様の胸の中にも私と同じ誠心が宿っているはずですよ。私たちの力を一つに結集してこそ「1000人のチェロアンサンブル」の魅力があるのです。

(注) オトマー Otomarowitzky 1952年ミュンヘン、1953年ジュネーブ・コンクール入賞。兄は、ベルリン・フィル首席クリストフ Christoph Kupfer 元ベルリン・フィル奏者。フンクの組曲の編曲者。現代音楽作曲家 アレンジャー

### NPO 国際チェロアンサンブル協会 第10回定時総会報告

NPO 国際チェロアンサンブル協会第10回定時総会は、2010年2月27日(土)の10時30分から11時25分まで、神戸市のシーパル須磨で開催されました。当日は、会員数191名中、委任状138名、出席者9名ということで定足数に達し、会議が成立しました。

この会議での決定事項は、次のとおりです。

#### ◎第一号議案

「平成21年度(2009年度)事業報告と決算承認」

#### ◎第二号議案

「平成22年度(2010年度)事業計画(予算)案」

#### ◎第三号議案

「第4回1000人のチェロ・コンサート予算について」

以上3議案について、事務局から提案説明の後、承認されました。

#### ◎第四号議案

「第4回1000人のチェロ・コンサート参加による入会者の2010年度会費特例について」

会員資格の期間について協議した結果、次のとおりとすることで、承認されました。

①今年度の会員期間は、2010年1月1日～2011年3月31日までの15ヵ月間とする。

②翌年度以降の会員期間は、4月1日～年3月31日までの12ヵ月間とする。

③今年(2010年)新規会員となり会費を支払った人は、今年度の会費は支払い済みとする。

④今年度の会費は、コンサート終了後(6月頃に)、CDと一緒に会員継続の依頼書を添えて、3,000円の会費の納付書を送付する。

#### ◎その他

「理事の選任について」を議題とし、次のとおり9名の選任が、承認された。

理事長	松本 巧
副理事長	白沢 史子
理事	柏木 武春
理事	田原 光子
理事	寺田 義彦
理事	中村幸太郎
理事	永山 恭子
理事	増川 誠
監事	山本 康雄

なお、任期は、2010年4月1日～2012年3月31日までの2年間とする。(作成 中村幸太郎)

